



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字NEWS

in TOKUSHIMA ニュース in 徳島

日本赤十字社徳島県支部
徳島市庄町3丁目12番地1
TEL.088-631-6000
FAX.088-631-6100
<https://www.tokushima.jrc.or.jp>

Vol.42
2020.12



●熊本県芦北町の避難所で、巡回診療を行う徳島県支部の救護員



●「いざ」に備えた救護用大型テントの設営訓練



●当支部が整備した段ボールベッドの組み立て研修

新型コロナウイルス蔓延下での新たな救護活動 令和2年7月豪雨災害で熊本県を支援！

7月の豪雨により甚大な被害を受けた熊本県に、日本赤十字社 徳島県支部から医療救護班を派遣し、迅速な医療救護活動を実施しました。今回の活動は、新型コロナウイルス感染症への配慮を伴う、前例のない救護活動となりました。

救護員は、派遣前から毎日検温と健康チェックを欠かさず実施し、現場ではサージカルマスクの着用、3密の回避、避難所を巡回診療する際の手洗い・手指消毒を徹底し、「救える命を救う」「感染症を拡大させない」という2つの信念のもと活動にあたりました。

避難所では、段ボールベッドやパーティションを活用した感染対策が見られたものの、感染への不安から車中泊をする人の姿もあり、避難者は新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、新たなストレスや不安を感じていました。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する今日においても、災害は起こる可能性があります。当支部では、救護員の技術向上に努めるとともに、避難所支援に必要な段ボールベッド等の整備を進めるなど、「いざという時」に備えた活動を、今後も継続して参ります。

令和2年7月豪雨災害義援金

皆様の思いの詰まった義援金が寄せられました。

日本赤十字社受付額 41億3,183万6,790円
(令和2年9月末現在)

徳島県支部受付額 381万6,308円
(令和2年10月末現在)

皆様からお寄せいただいた義援金は全額が被災地に届けられます。

ご協力、誠にありがとうございました。

コロナ禍の避難 ～分散避難と一時・長期避難の準備を～

災害が迫り、身の危険を感じたり、家屋の損壊等で自宅での生活が危険と感じたら迷わず自宅から避難しましょう。

避難所に避難するだけでなく、ホテルや知人宅等に避難したり、自宅が安全な場合は在宅避難をするなど、新型コロナウイルスの感染リスクが低い分散避難についても考えてみましょう。

避難所には毛布や食料が備蓄されている場合もありますが、発災直後は物資が十分に行き渡らないことも。普段の避難準備品にマスクや消毒液、体温計を加えておくことも大切です。

予想される避難生活の長さによって、必要になる物資の種類や量も変わるため、一時避難用と長期避難用の準備をすることも有効です。



施設取材
企画第1弾

「徳島赤十字乳児院」記者レポート 乳幼児支援の現場から
子どもの未来を守る『最後の砦』として

乳幼児を養育する
県内唯一の施設

何らかの理由により家庭で養育できない子どもを預かり、看護師や保育士、管理栄養士などの専門のスタッフが、さまざまな形で養育支援を行う乳児院。生活困難、虐待などの社会的理由をはじめ、父母の精神疾患や子ども自身の疾病といった医学的理由に至るまで、受け入れ対象は多岐にわたります。現在、児童福祉法の認可を受けた乳児院は全国で143カ所。その中の8施設が赤十字の運営によるものです。

「徳島赤十字乳児院は、子育て専門のスタッフが24時間体制で乳幼児を養育している県内唯一の施設です。概ね2歳までの子どもを対象としており、理由によっては小学校就学前まで預かりする場合も

あります」と話すのは、乳児院長の島本耕志さんです。

「ここは乳幼児を守る『最後の砦』とも言える場所です。愛着形成や成長過程に大きな影響を与える年頃の子どもたちを、スタッフ一丸となってサポートしています」と話します。

措置児童の受入れから
一時預かりまで

乳児院では、児童相談所からの依頼による措置児童の受入れをはじめ、家庭の事情で一時的に養育が困難となった子どもを最大7日間にとわって預かる「短期預かり事業」、発熱などで保育園につれて行けない時などに日帰りで預かる「病児保育事業」、子育て世代の交流の場となる子育てスペース「こここほっぺ」の開催など、多彩なサービスを展開。来年度からは、



●子どもたち一人ひとりが安心して生活できる環境を提供します。

里親委託推進事業を本格的にスタートさせるなど、より手厚いサポートを行っていく予定です。

「施設では特別なケアが必要な子どもには、個別対応職員が寄り添いながら養育しています。ご家族の悩みを親と一緒に考え、問題解決のお手伝いをする家庭支援専門相談員や、大人と子どもの関係づくりを支える心理療法担当職員などの専門スタッフもいます。これからも時代に応じた事業展開を図りながら、乳幼児やそのご家族の未来を力強く支えていければ」と島本さんは話してくれました。



●ボランティアの皆さんや地域と連携し、さまざまな子育て支援の活動を行っています。



新型コロナウイルス感染症対策
予防は最大の治療です！

徳島赤十字病院 感染管理認定
看護師の角谷 美千代さん
にお聞きしました！

従来から知られているコロナウイルスは、寒く空気が乾燥する冬期を好むウイルスで、冬にはインフルエンザの流行と重なる恐れがあります。今冬は特に新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が危惧されています。

インフルエンザと新型コロナウイルスは、症状や潜伏期間など多少の違いがあるものの、両者を見分けることは困難となります。（表1参照）

また、新型コロナウイルスの治療には限りがあり、ワクチンも開発途中であるため、戦わずして敵に勝つには、感染症に負けないための規則的な生活習慣と手指衛生やマスクの活用など予防に努めることが重要です。

手洗いを行う際は、指先や指の間・親指などを洗い残さない正しい手順で行うことが大切

です。（図1、図2参照）

アルコール製剤で手指消毒をする場合は、まず指先を消毒することが重要で（図3参照）、手指衛生をしていない手で口や鼻、目に触れないよう心掛けましょう。

図2 手洗いミスの生じやすい部位

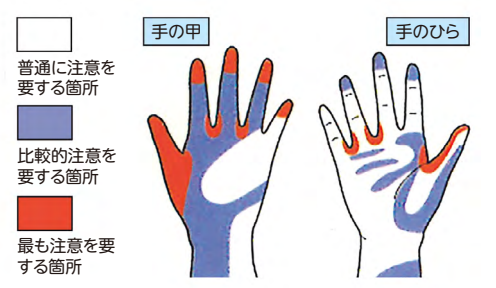


図1 基本は手洗い「手洗いの手順」

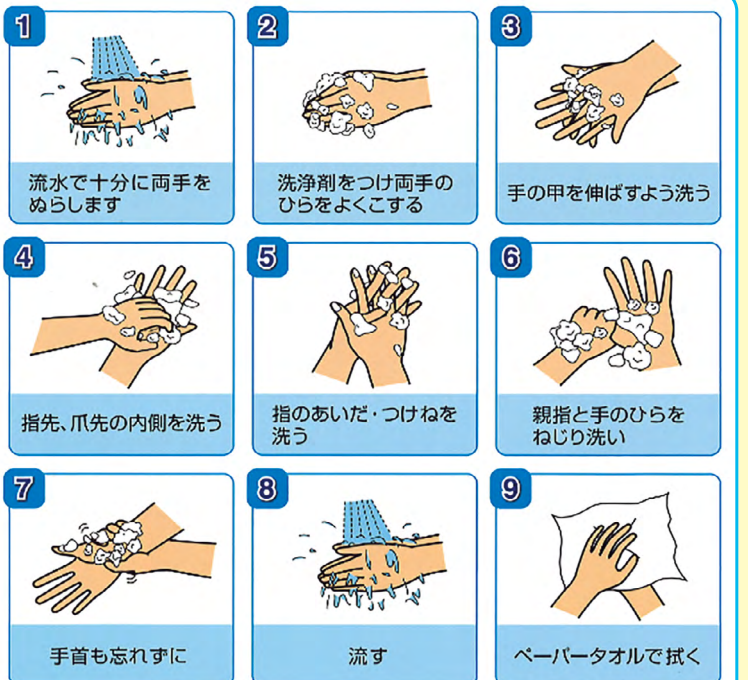


図3 手指の正しい「消毒手順」

重要ポイント



表1 インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の違い

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
症状	しばしば 高熱 が出る	発熱に加え、 味覚や嗅覚障害 を伴うことがある
潜伏期間	1～3日	1～14日（ 平均 5、6日 ）
無症状感染	10% 無症状患者のウイルス量は少ない	数%～60% 無症状患者のウイルス量は多い
ウイルス排出のピーク	発症後、2、3日後	発症日
治療薬	飲み薬や吸入薬など 複数種あり	多くの薬剤は 治験中
ワクチン	あり	開発中

さまざまな形で赤十字活動を支援！ ～企業の社会貢献活動のご紹介～

●さとの雪食品株式会社 様

自社の通販サイト「おとうふ宅配便」での売り上げの一部を当支部にご寄付いただきました。

このご寄付は、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願い、「長期保存可能な豆腐でうち時間の食生活のサポート」を合い言葉に、「STAY WELL AND EAT TOFU」プロジェクトを同社が展開したものです。

プロジェクトに賛同し、商品を購入された皆様の思いを日本赤十字社の「いのちと健康、尊厳」を守る活動で形にします。



開けたときができたての味。

豆腐はできたてが一番おいしい。
そんなできたて豆腐のおいしさをいつでも
どこでも気軽に味わえる紙容器入り豆腐。
それが「富士山の清純とうふ」です。

富士山の清純
とうふ
180日間保存可能
鮮度そのまま
紙容器入り
保存料、着色料は
不使用

●株式会社ぶつだんのもり 様

自社が掲載する徳島新聞の紙面広告や折り込み広告に、日本赤十字社活動支援費を呼びかける記事を継続して掲載いただいています。

「人が人を思う真心」を大切にされている同社の社会貢献活動として、「人間を救うのは、人間だ」という赤十字の理念にご賛同のうえ、ご協力いただいているものです。



あなたの思いを未来へ
日本赤十字社では寄せられた寄付金で
いのち・健康を守る活動を行っています。

赤十字からのご提案
○遺言によるご寄付
○相続財産からのご寄付
※税制上の優遇措置がございます。

ご相談は
日本赤十字社 徳島県支部
〒770-0044
徳島市庄町三丁目12番地1
TEL. 088-631-6000

株式会社 ぶつだんのもりは赤十字活動を応援しています。

地域の防災力向上を支援！ ～災害時活動用テントを配備～

徳島県支部では、赤十字の支援団体である徳島県赤十字有功会のご協力をいただき、県内の全市町村へ「赤十字災害時活動用テント」の配備を進めており、本年度は9月の防災月間を皮切りに新たに25張を配備しました。

このテントは、従来の同規模テントに比べ軽量・コンパクトな上、簡単に設営することができ、さらに囲い幕を付けることで、雨や風、真夏の強い日差しを防ぎ、炊き出し時の衛生環境も確保できます。

すでに地域へ配備されている赤十字災害用移動炊飯器とあわせて活用いただくことで、地域の災害対応力の更なる向上が図られます。



●勝浦町分区分への引き渡しをもって、配備事業が完了。
これで県内配備数は83張となりました。



●阿波市地区では配備のあと、赤十字奉仕団員が設営訓練を実施しました。

「海外たすけあい」にご協力ください

—12月1日～25日に実施—

今年度も、海外で苦しんでいる人々を支援するための「海外たすけあい募金キャンペーン」をNHKと協働で実施します。

今回のテーマは「国境を越える感染症」。皆様からの善意は、新型コロナウイルスの影響を受けた世界各地の災害や紛争、病気といった様々な人道危機への支援に活用されます。

皆様のご協力をお願いいたします。



●バングラデシュにて医療支援を行う日赤看護師



青少年赤十字加盟校の活動をご紹介します！

県内では現在、加盟292校(小・中・高)に加え、新たに13幼稚園が青少年赤十字(JRC)に加盟いただき、「気づき・考え・実行する」を合言葉に「こころ」を育む様々な活動を行っています。その活動の一部をご紹介します。

●手作り募金箱で赤十字を支援！

城ノ内高等学校からは赤十字活動支援費をお寄せいただきました。

この寄付金は同校の文化祭で手作り募金箱を持った生徒が募金を呼びかけ集められたもの。

託された募金は災害救護等のいのちと尊厳を守る赤十字活動に活用させていただきます。



●思いやりの心と共に募金箱が手渡されました。

●幼稚園でもJRCで楽しく防災！

沖洲幼稚園では、赤十字の防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」を活用した防災教育を実施。

教室のイラストを見ながら「地震で棚の上の時計が落ちてくるかも」と元気いっぱいに答える園児の姿が見られました。



●赤十字提供の防災教材に夢中になる園児たち



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン



新型コロナにも負けず学生ボランティアは頑張っています!

7月の愛の血液助け合い運動月間では19日と26日の2日間、ゆめタウン徳島で献血キャンペーンを行い、献血者へ呼びかけや記念品をお渡ししました。

学生ボランティアの熱い呼びかけに **141名**の受付協力をいただきました。

学内献血では徳島大学、四国大学でスポーツ選手に一助してもらいました☆

徳島大学ではアメリカンフットボール部の女子マネージャーさんや選手達が続々と献血に来ていただきました。

また、四国大学では、10月に開催された日本選手権で見事に砲丸投で日本一になられた^{ゆきなが}幸長選手のお祝い記念献血を学生ボランティアが主催し、当日は幸長選手も駆けつけ献血会場を盛り上げてくれました。

徳島県学生献血ボランティアは新型コロナにも負けず、若年層の献血者確保に頑張っています。

愛の血液助け合い運動月間

アメフト献血

幸長選手
優勝おめでとう献血

地域赤十字奉仕団が児童クラブで読み聞かせ会を開催

地域赤十字奉仕団の美馬市美馬分団は、献血の大切さを描いた絵本「けんけつのはなし」の読み聞かせ会を、美馬児童クラブで開きました。

8月20日に集まった児童は30名。「『血』って痛いイメージがあるから嫌だなあ」と言っていた女子児童もいましたが、話が始めると真剣な面持ちで聞き入っていました。

聞き終えた児童からは「大人になったら、困った人に血を分けてあげたいです」や「血のイメージが変わりました」、「好き嫌いせず食べて、血をいっぱいになりたいです」といった声が聞かれました。

企画した青木委員長は「今年は短い夏休みになってしまったが、学び多い休みになってほしかった。この絵本が児童の心を成長させてくれると信じている。」と話していました。



60代から献血をはじめて

牟岐町在住の沖吉恭一さんは、60代から献血をはじめられたそうです。

きっかけは、昔ケガが多くて手術など病院でお世話になることが多く、何か自分に出来ることがないかと思い、献血をはじめたそうです。2015年から毎年、年2回牟岐町で献血をしていただき、70歳を迎える前に、最後の献血をと10月の牟岐町役場での献血にもチャレンジしてくれました。帰り際にスタッフへ「長い間ありがとうございました」と言って、会場を後にされました。こちらこそ本当にありがとうございました。

沖吉さんのように60代からでも献血をはじめられます。献血へのご協力をよろしくお願いします。

※400mL献血は男性17歳～69歳女性18歳～69歳
(但し65歳～69歳までの方は60歳～64歳までに献血の経験がある方に限られます)



バスの献血でも予約ができるようになりました。

密を避けるため事前の予約にご協力ください

※前日までに予約いただいた方を優先してご案内します。

〈予約方法〉

●献血バス

・電話予約 0120-688-994 ※毎日9:00～17:30

●献血ルームアミコ

・Web予約 ※「ラブラッド」会員のみ ※前日の17:00まで

・電話予約 0120-688-950 ※定休日を除く 9:30～17:30

●献血バスの予定、イベント・キャンペーン情報は
血液センターホームページから



献血ルーム アミコのご案内

●受付時間:9:30～13:00/14:00～17:00 (成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店街の開店前及び休館時は、3Fシビックセンター広場入口か、1F郵便局横入口をご利用下さい

●定休日:毎月第1・3火曜日

※悪天候時には変更する場合がありますので、お問い合わせ下さい。

※年末年始は2021年1月1日(金・祝)・2日(土)が休み(※それ以外は通常どおり)

●住所:徳島市元町1-24 アミコビル3F(JR徳島駅前)

●お問い合わせ:0120-688-950

●右の①～④の駐車場をご利用ください。



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク



●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局

徳島市庄町3丁目12-1

TEL.088-631-6000

徳島赤十字ひのみね総合療育センター

小松島市中田町字新開4-1

TEL.0885-32-0903

徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね

小松島市中田町字新開4-1

TEL.0885-32-0903

徳島赤十字乳児院

小松島市中田町字新開2-2

TEL.0885-32-0555

徳島赤十字病院

小松島市小松島町字井利ノ口103番

TEL.0885-32-2555

徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町3丁目12-1

TEL.088-631-3200